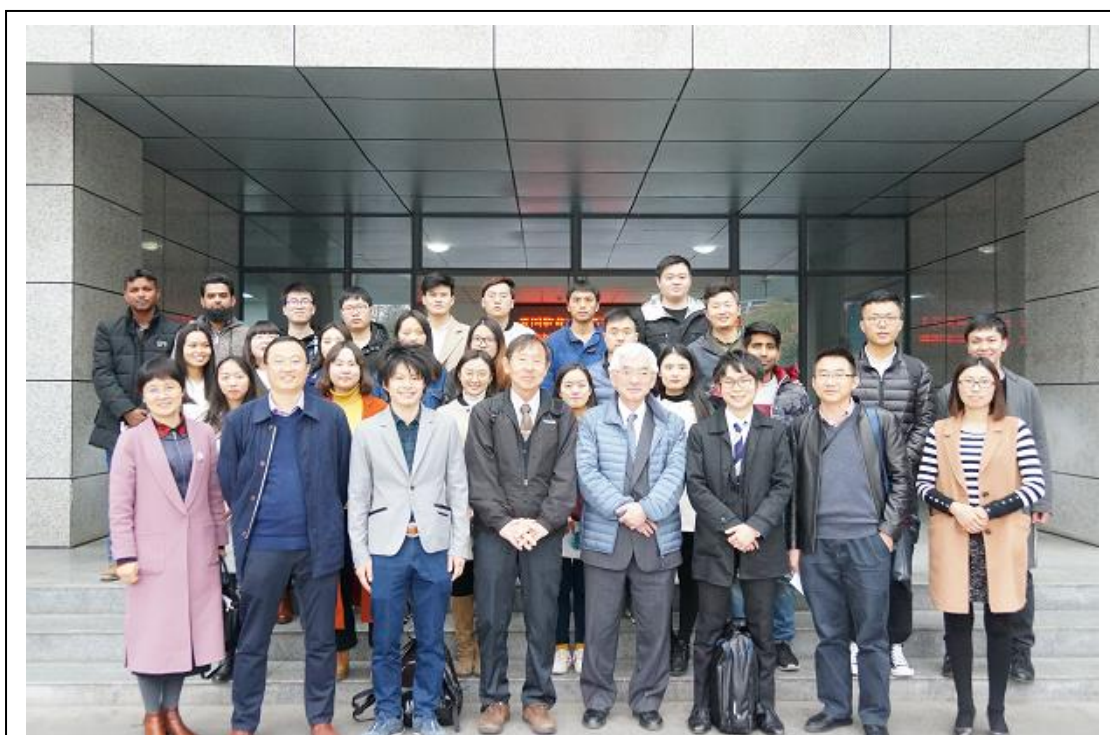


2019年3月13日から16日まで、RCASの吉村、前田、中村、新居が四川農業大学(中国四川省成都)を訪問し、動物科学院の教員学生とジョイントセミナーを行った。本学と四川農業大学には1995年から交流協定があり、広島大学生物圏科学研究科を修了された方と客員研究員として滞在された方の計3名が四川農業大学動物科学院の教員として活躍している。本セミナー期間中には、両大学の交流の歴史、RCAS、来年度よりスタートする本学統合生命科学研究科の説明を行い、2日間にわたって四川農業大学の動物繁殖学、家禽学、家畜育種学、栄養学の分野の院生による研究発表とグループディスカッションを行った。さらに、広島大学から訪問した4名による以下の講演を行った。

- ① Innate immune system in the oviduct mucosa of hens. (吉村)
  - ② Timing and interval effects of repeated insemination by roosters on the feathering of chicks. (前田)
  - ③ Manipulation of germ cells for preservation of poultry genetic resources. (中村)
  - ④ Effects of artificial intestinal inflammation on egg productivity of hens. (新居)
- セミナーには延べ約100名の教員および学生が参加し、活発な討論が行われた。



四川農業大学動物科学院において